

【別添2】（様式例2）

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣南高等学校 学校番号 22

## I 自己評価

1 学校教育目標	<p>「文・武・芸」の三道三立 自ら学び、自ら考え、自ら主体的に行動できる「生きる力」の育成をめざして、人間性豊かな人格の形成に努める。</p>	
2 評価する領域・分野	◇学習指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ全員が進学を希望しているため、価値観は一元化している。</li> <li>・生徒は素直で真面目で、落ち着いた雰囲気の中で学習をしており、学校の取り組みに対して好意的である。</li> <li>・主体的に考えたり、積極的に行動することを苦手とする生徒が多い。</li> <li>・家庭学習時間を確保できない生徒が少なからずいる。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇社会状況の変化や生徒の実態の変化に対応した授業方法（ICTを活用した授業、AL型授業、習熟度別授業）の在り方について研究を深め、生徒が主体的に考えたり積極的に行動する場面を少しでも取り入れた授業を全職員が意識して展開できるようにする。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務学習係・教科主任を核とし、年間を通じて公開授業・研究授業を計画実施していく。</li> <li>・ICT推進リーダー、活性化プログラム推進リーダーを中心にICT活用の有効性を伝える組織を編成する。</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組 (1) 授業改善の必要性を全職員に浸透 (2) ICT環境の充実とICTの有効活用の全職員への浸透	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標 (1) 生徒の主体性の向上 (2) 授業に対する満足度および学力の向上	
8 取組状況・実践内容等 ・年1回の研究授業・研究会と年2回の公開授業週間の実施 ・推進リーダーによるICT機器研修会の実施 ・全校集会、ふるさと探究学習、高校見学会へのWeb会議システムの導入 ・授業へのICT活用	9 評価視点 ① 職員の取組み状況 ② 生徒の主体性の向上 ③ 学力の向上および授業に対する満足度	10 評価 A (B) C D A (B) C D (A) B C D
11 成果課題	<p>○職員間に「基礎学力の定着を図る授業」「AL型の授業」「ICTを有効活用した授業」の意識が高まり、生徒が主体的に取り組む授業を実践できるようになってきた。</p> <p>○Web会議システムをいろいろな場面で活用することにより職員がICT機器を身近なものとして捉えることができるようになった。</p> <p>▲授業改善、ICT等の環境整備を通して、生徒の主体性を向上させるための土台は構築されつつあるが、まだ生徒は受動的である。</p>	
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業、公開授業週間における授業参観はもとより、普段から授業に参観できる雰囲気（若手の先生の間では今年その雰囲気があった）を職員全体に広め、参観を通して生徒が主体的に考えたり積極的に活動する力を育む場面を意識し授業改善に生かすようにする。</li> <li>・ICT機器については、年末に新たにタブレットが配置され、学校を取り巻く環境が日々大きく変化している。推進リーダーを中心に、学習活動の中でデジタル教材やアプリケーションが手軽に多くの先生に使用してもらえるように研修会を開いていく。</li> </ul>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年1月28日

### 【意見・要望・評価等】

※地域課題探究型学習（ふるさと教育）学習発表会参観

・調べて発表するという形にはなっていたと思う。それが探究になるにはさらに努力が必要になる。学年進行による成長を見る必要がある。調べる情報量が少なかったので、自ら調べるところを強調してはどうか。

・探究学習のスタートとして、生徒の発表の背後には様々な立場の方々の関わりが感じられ、それだけでも事業初年度の成果を感じることができた。探究への生徒の真面目な取り組みを感じたが、多面的に考える力に弱さがあるので、今後は様々な意見をぶつけ合うようなことがあってもよいかもしれない。突き詰めて考えることの楽しさを生徒に知ってもらいたい。

・各グループが緊張感の中、がんばっていた。7つのテーマが設定されていたが、もっと絞る方向もあるのではと思いました。

・テーマ設定がどのようになされたかが、よくわからなかった。「養老鉄道」と「観光・町おこし」は、リンクする点があるのではないか。たんへん参考になる発表でした。

・全体的に「探究」が弱かったと思う。取り上げたIT関連企業の事業内容や企業の強み等も探究できるとよかった。2年生になってもう少し深められるとよい。

・各発表者は、自分たちの意見をしっかり発表できていました。来年以降にも役立つ活動にしていきたいと思います。

・手探り状態で分からない中、全体的に良い方向に向かっていると思う。せっかくの取り組みをさらに深化させるには、先生方の生徒に対するアプローチ（「どうして」「なぜ」などのことば）が必要になるのではと考える。あわせてプレゼンテーションなどの発表のテクニックの向上も望まれる。

・「『聞いた』『調べた』を持ってきた」というのが、発表の全体のイメージです。「それ、ホント？」「それで解決するのならなぜ今解決していないの？」「本気で実現するならどうすればいい？」を深めていくとよいと思う。

### 【別添2】（様式例2）

## 令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣南高等学校 学校番号 22

### I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 生徒一人一人を大切にしたきめ細やかな教育に努める。 (2) 生徒と保護者に年間学習計画を示し、その達成に努める。 (3) 生徒が主体的に判断し、自己責任を持って行動できるようにする。
----------	---

2 評価する領域・分野	◇生徒指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・交通安全指導における、自転車・歩行者の交通マナー。 ・高校生としてのふさわしい服装や頭髪指導の徹底。96.1%→96.1%→95% ・教育相談における、個々の生徒への適切な指導。84.9%→85.7%→84.4% ・いじめや差別に対する厳しい対応。78.6%→80.4%→84.2%	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自転車・歩行者の交通安全や“思いあいの心”の意識の向上。 ◇端正な身だしなみや、社会の一員としてのマナー遵守への意識向上。 ◇教育相談を中心とした、個々の生徒に応じた適切な支援への連携。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・職員が一致協力して取り組める体制を確立していく。 ・教育相談と関係外部機関、生徒指導の連携を図る。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 様々な交通安全啓発活動を通して生徒自身の交通マナーに対する意識の向上。 (2) 身なり・マナー指導の継続実施。 (3) 放送によるタイムリーな指導の実施。 (4) 十分な生徒理解による適切な支援の実施。	(1) 交通安全啓発活動が計画どおり実施できた。 (2) 身なり、マナー指導を計画どおり推進できた。 (3) 適切な人権講話が実施できた。 (4) アンケート調査の結果を分析する。	

8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全指導</li> <li>・身なり・マナー指導</li> <li>・生徒理解・人権教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故を減らすことができたか。</li> <li>・身だしなみやマナーが向上したか。</li> <li>・生徒理解を深め、適切に支援することができたか。人権意識を高めることができたか。</li> </ul>	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>(A) B C D</p>
11 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲大きな交通事故は、なかったものの、交通事故発生件数は前年度より増加した。しかし、MSリーダーズや生徒会の働きかけで、全体的に交通安全に関する意識が高まり、交通ルール違反者は減少した。</li> <li>▲うっかり遅刻が増加した。</li> <li>▲物を大切にすることを持たせたい。(拾得物の増加)</li> <li>○身だしなみは落ち着いており、安定した学校生活を送ることができた。</li> <li>○教員間の生徒情報の共有ができ、素早い適切な対応ができた。</li> <li>○長期欠席者や保健室登校、教育相談室登校がほぼいなかった。</li> </ul>	<p>総合評価</p> <p>(A) B C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホの依存使用や情報モラルに関する問題は来年度も継続して指導し続ける必要があると考える。生徒自身でルールを作らせ、守らせるような自主的な行動ができるようにしていきたい。</li> <li>・校則の見直しを本年度実施したが、引き続き来年度も見直しを検討していきたい。</li> <li>・制服のセーラー服のスカートに代わるスラックスの導入を考えていきたい。</li> <li>・身なり指導の実施回数を減らす。</li> </ul>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年1月28日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校則の見直しが話題に上がったが、今後見直しが続くのであれば、社会の変化にあったよりよいものにしていてもらいたい。</li> <li>・生徒は身なりもしっかり守っていて、学校全体が落ち着いている。</li> </ul>
---